

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	ISO27000 セミナー ISO27017 クラウドセキュリティ規格解釈コース
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	詳細につきましては、日本規格協会ホームページをご覧ください。
総時間	6 時間
開催場所	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ISMS クラウドセキュリティ認証を計画、または取得している企業・組織の方々 ・クラウドサービス固有の情報セキュリティの脅威及びリスクに興味のあるの方々
定員	
題目	
プログラム(次第)	<p>【第1日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO27017 制定の背景 ・ISO27017:2015 クラウドサービス向け管理策の解説 ・JIP-ISMS517-1.0 ISO/IEC 27017:2015に基づくISMSクラウドセキュリティ認証に関する要求事項の解説 ・クラウドセキュリティ実施事例 ・質疑応答 <p>※プログラムは変更になる場合がございます。</p>
内容	<p>昨今、クラウドコンピューティングの利用によって、コンピューティング資源の技術的な設計、運用及びガバナンスに重大な変化が生じ、それによって組織が情報セキュリティリスクを評価し低減する方法も変化してきています。</p> <p>ISO/IEC 27002 (情報技術—セキュリティ技術—情報セキュリティ管理策の実践のための規範) に基づくクラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践の規範を提供する国際規格である ISO/IEC 27017 が 2015 年に発行されました。ISO/IEC27017 は、クラウドサービス固有の情報セキュリティの脅威及びリスクに対処するため、ISO/IEC27002 に基づきクラウドサービス固有の追加の実施の手引を提供するとともに、追加の管理策も提供しています。</p> <p>JIPDEC (一般財団法人日本情報経済社会推進協会) では、2016 年夏から ISMS (ISO/IEC27001) 認証を前提として、ISO/IEC27017 のガイドラインに沿ったクラウドサービスの情報セキュリティ管理を満たしている組織を認証する仕組みである ISMS クラウドセキュリティ認証を開始します。ISMS クラウドセキュリティ認証は、クラウドサービス事業者、クラウドサービス</p>

	<p>利用者の両方を対象としています。</p> <p>本コースでは、ISO/IEC27017の規格の意図を理解していただき、組織としてどのように対応すべきかに主眼をおき、事例を交えながらわかりやすく解説します。</p> <p>本コースを受講いただき、規格の理解を深めることで、クラウドサービス固有の情報セキュリティの脅威及びリスクに効果的に対処してください。</p>
プログラムの目標	
CPD点数	20点
料金	一般：¥22,680〈税込〉、日本規格協会 維持会員：¥20,520〈税込〉
備考(問い合わせ先)	<p>一般財団法人 日本規格協会 研修ユニット</p> <p>TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675</p>
詳細URL	https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/005/004/002